

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	道水路等維持補修事業			コード	141201
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者 中楯博一
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備
		予算科目	道路橋梁総務管理費／道水路維持補修費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	道路法、河川法、道路交通法		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	道水路利用者の安全確保のために、道水路施設を良好な状態に維持する。		
目的	対象者	道水路利用者や市民	
	意図	円滑な道路交通を確保して市民生活の安全を図る。	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>（1）通常の道水路パトロールのほかに、毎月3回、市内の道路で建設水道部職員が、道路パトロールを5班体制で実施した。</p> <p>（2）年1回の渇水時期に、市内にある44河川で土木課職員が、河川パトロールを6班体制で実施した。</p> <p>（3）パトロールや市民からの情報に基づき、道水路施設等の破損箇所について34箇所の維持工事を行い、道路清掃、土砂浚渫運搬、測量設計、伐採等28件の委託業務を実施した。</p> <p>（4）常温プラントで舗装合材を88.8t練り、直営で舗装の補修を実施した。</p> <p>（5）冬季の道路管理では、凍結防止剤の散布を延べ126回散布し、部分除雪や雪捨て場の整地を実施した。また、直営による滑止め用の砂袋や塩カルの配布を実施した。</p>		
前年度の課題への対応	舗装長寿命化修繕計画を策定し、来年度から公共施設等適正化推進事業債を活用した舗装補修工事を予定。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円円で換算）				[単位：円]
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 直接事業費	196,570,200	155,069,162	177,336,557	340,109,000	
経常経費	46,993,440	41,164,494	55,043,841	62,103,651	
臨時的経費	149,576,760	113,904,668	122,292,716	278,005,349	
* 臨時的経費の説明	交付金を活用した舗装等の補修工事関連				
② 人件費	22,400,000	30,400,000	26,400,000	26,400,000	
正規職員の人数(人)	2.80	3.80	3.30	3.30	
③ 合計コスト (①+②)	218,970,200	185,469,162	203,736,557	366,509,000	
前年度比		84.7%	109.8%	179.9%	
財源	156,920,200	89,962,162	93,205,557	108,159,000	
一般財源					
内訳	62,050,000	95,507,000	110,531,000	258,350,000	
特定財源					
* 特定財源の説明	社会資本整備総合交付金、公共事業等債				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
社会資本整備総合交付金	件数	4	3	3	1
	金額	35,750,000	23,607,000	27,931,000	102,850,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	35,750,000	23,607,000	27,931,000	102,850,000
	割合	18.19%	15.22%	15.75%	30.24%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 今後は、築造してきた全ての道路施設等を点検し維持管理するためには、人材や財源の確保が課題である。
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 立地適正化計画を踏まえて、維持管理していく道路施設等（市道の認定路線）を見極めていく。
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	--	---